

# 長田川～油ヶ淵の水の調査

エメラルド

## 1. はじめに

ぼくたちの学校の近くにある用水路を地図でたどってみたところ、安城市内を流れる長田川につながっており、長田川が油ヶ淵につながっていた。油ヶ淵は愛知県唯一の天然湖沼で、その近くにはぼくたちの大好きな公園がある。おもしろそうだったので長田川と油ヶ淵の水を調べてみようと思った。

## 2. 調べる前に川について出し合った意見

- ・川の幅が広がるほど、水はきれいだと思う。
- ・小さい川だと、生活排水が入ってきたくないと思う。
- ・大きい川のほうが生き物の種類は多いのではないか。

## 3. 調査した場所

### ① 長田川上流部 (安城市横山町)



### ② 長田川中流部 (安城市榎前町)



③ 油ヶ淵 (安城市東端町)



4. 調査

日時 : 9月18日(日) 9月23日(金) 10月8日(土)

天気 : くもり時々雨 雨 晴れ

調べたこと : COD 透視度 水のにおい 川の様子  
生き物

	COD	透視度	におい	流れ	ゴミ	生き物
①長田川上流部	7	40cm	生臭い	波があるような 流れがある	少ない	コイ
②長田川中流部	6	40cm	少し生臭い	波があるような 流れがある	少ない	コイ、カメ
③油ヶ淵	16	25cm	しょっぱい匂い	波はないが 流れている	ある	水鳥、魚 ※1

※1・・・実際に捕まえることはできなかったが、インターネットで調べたところボラ・コイ・フナやスズキ等がいる

5. 川のまわりのようす

- ・①長田川上流部、②長田川中流部はともに水辺には近づけない。
- ・③油ヶ淵は一部水辺に近づけるところがある。
- ・①長田川上流部のまわりは住宅街。
- ・②長田川中流部の周りは畑や田んぼ。
- ・①②③の地点すべて多少の差はあったが、水際に植物が生えていた。

6. 調べてわかったこと

- ・長田川は目で見て感じていたよりもきれいで、油ヶ淵は思っていたよりも汚かった。川の大きさは水の汚れに関係なかった。
- ・同じ川でも川の水の汚れに違いがあるのは、水の流れの速さや川の周りの環境も影響しているのかと思った。
- ・川の様子や水の汚れ具合は前日や当日、川の上流部の天気の影響も受けている。
- ・コイは調査した全ての地点にいた。



## 7. 色々な水の調査

今回長田川～油ヶ淵を調べて、きれいな水って何だろう？と思い、身近にある色々な水も調べてみることにした。

調べた水	COD (水の汚れ具合)	透視度	におい	生き物
水道水	4	30cm以上	なし	
雨水	6	30cm以上	少し生臭い	
ミネラルウォーター (純水)	1	30cm以上	なし	
田んぼビオトープ (油ヶ淵)	16	1cm以下	泥臭い	生き物多数 ※下記参照

※田んぼビオトープにいた生き物



## 8. 調査後に考えたこと

- ・ぼくたちが透視度やにおいなどで汚い水だと思っても、生き物にとっては住みやすい環境であることもある。
- ・ゴミは自然の物 (草や木など) と人間が出した物 (タバコ、ペットボトルなど) があり、自然の物が生き物に与える影響は少ないが、人間が出した物は生き物にとって悪い影響を与えていると思う。

## 9. 川の環境を守るためにできること

- ・ゴミのポイ捨てをしない。
- ・生活排水から出る汚れを少しでも減らす。  
風呂水を洗濯に利用する、米とぎ汁をプランターや庭にまくなど水の再利用。  
鍋や食器についた汚れは古紙で拭き取って、排水口に流す水の汚れを減らす。  
三角コーナーや排水口ネットなどを利用しゴミを流さないようにする。